

さいし あがな
祭司の贖い
ひとびと つか
-人々に仕えるために-

<序>主は呼び告げられた 1:1

	1章	2章	3章	4章	5章	
神	全焼のささげ物	穀物のささげ物	交わりのいけにえ	罪のきよめのささげ物	代償のささげ物	人
	献身	行い	神と人	自覚	償い	

I. 大祭司によって神に近づく

1. 誠実に歩む模範と 6-7v
2. いつも心にかけて 8v
3. 主の聖なる者として 9v

II. 今、万人祭司として

1. 救いとその確信 14-15v
2. 献げきった喜び 18、21v
3. 聞いて、行い、歩む 22-23v



しかし、あなたがたは選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神のものとされた民です。それは、あなたがたを闇の中から、ご自分の驚くべき光の中に召してくださった方の栄誉を、あなたがたが告げ知らせるためです。(一ペテロ 2:9)

分かち合いのための質問

1. レビ記の通読や礼拝メッセージを通して、あなたがイエス様から語りかけられていることは何ですか。
2. イエス様によって神に近づくことの特権は、どのようにして、あなたの毎日に活かされていますか。
3. すべてのクリスチャンは、人々に対して祭司ですが、どんなことを心して、証ししていますか。